

時代の変化に応じて、お客様の経営資源に関わるサービスを拡大

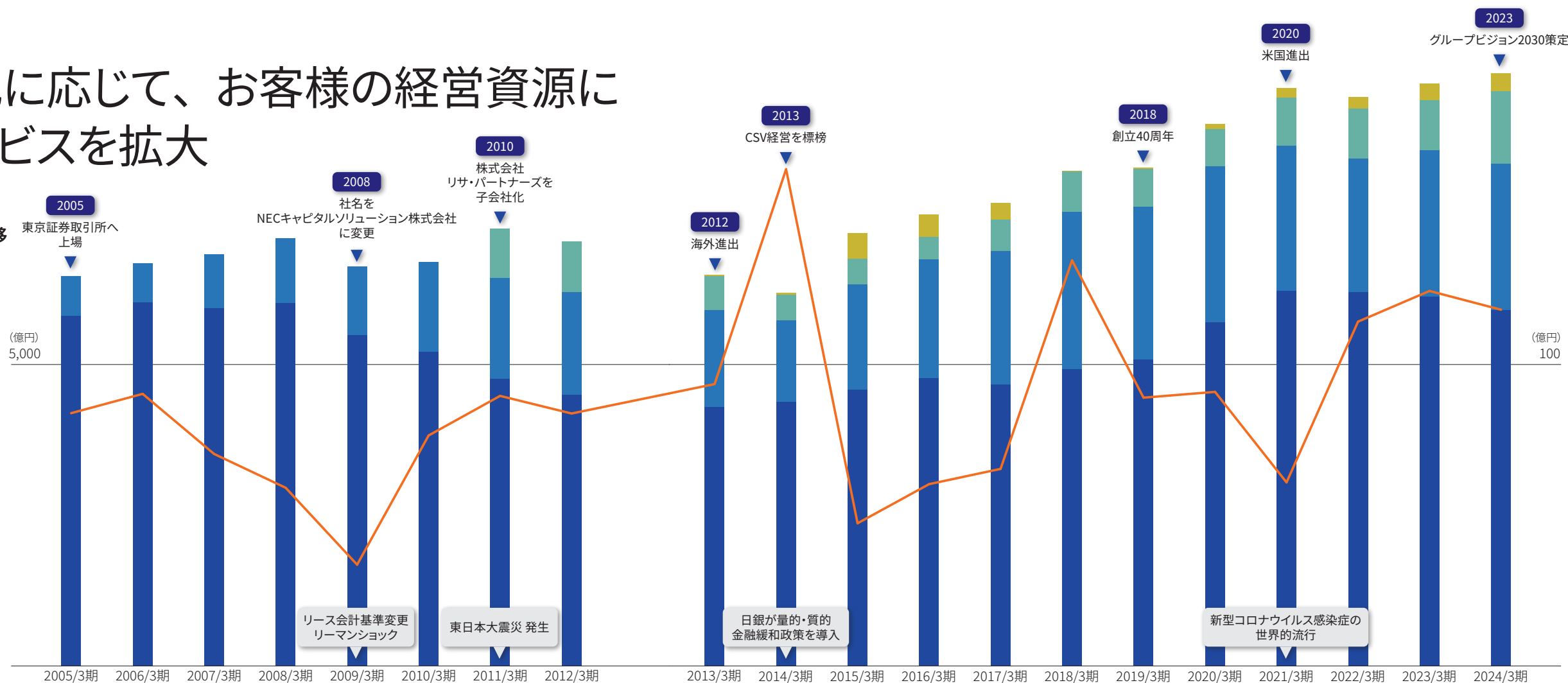
● 営業資産残高・経常利益 推移 (東京証券取引所上場以降)

営業資産残高(左軸)

- リース事業(旧賃貸・割賦事業)
- ファイナンス事業(旧営業貸付事業)
- インベストメント事業(旧リサ事業)
- その他の事業

— 経常利益(右軸)

※報告セグメントの変更に伴い2017年3月期～2021年3月期は遡及修正したデータを表示しています。



1978.11～
リース業界でのプレゼンス確立

2003頃～
ICTサービスへ事業領域を拡大

2008.4～
金融サービスへ事業領域を拡大

2013.10～
CSV経営の実現を目指して

2023.4～
グループビジョン2030のもと、
CSV経営の実践を推進

事業トピックス

1978年にNEC製品の販売金融機能を担う会社としてスタート。NEC製品のリースを中心に取扱高を伸ばし、メーカー系リース会社として足もとを固めました。

東京証券取引所への上場を機に成長性や独自性を推進。取扱製品の多様化やICT機器のライフサイクルマネジメントサービス等、当社独自の取り組みを進展させ、ICTに関する知見を蓄積しました。

より高付加価値な事業への転換を目指して金融サービスの取り組みを拡大し、社名をNECキャピタルソリューション株式会社に変更。株式会社リサ・パートナーズを子会社化する等、事業の多角化を推進し、幅広い高度な金融に関するソリューションを拡充しました。

2013年に10年後にありたい姿をグループビジョンとして策定。当社グループの強みを活かした「サービス」の提供により、事業を通じて社会課題を解決する「CSV経営」の実現を目指してきました。

2023年4月に新たにグループビジョン2030を策定。次世代循環型社会の実現に向け、CSV経営の実践を推進しています。

SBI新生銀行グループへ 2024年10月(予定)
SBIグループの顧客基盤、金融生態系や先駆的な機能を最大限活用することで持続的な成長実現に向けた変革を推進していきます。

サステナビリティトピックス

1999 環境マネジメントシステム(EMS)
「ISO14001」認証取得



2004 三重県「第2回日本環境経営大賞」
環境経営優秀賞受賞

2006 情報セキュリティ・マネジメント・システム(ISMS)
「ISO/IEC27001」認証取得

2007 ピオトップ造成社会貢献活動
「わくわく子どもの池プロジェクト」開始

わくわく子どもの池プロジェクト情報発信サイト
<https://www.necap.co.jp/company/biotop/index.html>



2010 独立役員選任

2011 BCP(Business Continuity Plan:
事業継続計画)策定

2012 「環境・復興支援
シンジケートローン」開始
(2018年に終了)

2013 「第15回グリーン購入大賞」
大賞・環境大臣賞(最高賞)受賞
主要グループ会社と共に本社を移転

2018 品質マネジメントシステム(QMS)
「ISO9001」認証取得



JQA-QMA15688
官公社会システム営業本部

2020 プライバシーマーク取得

2022 サステナビリティボンド発行(初)
DX認定事業者認定取得(初)
TCFD(気候関連財務情報開示
タスクフォース)賛同表明

2023 カーボンニュートラル宣言
健康経営優良法人認定(初)



イントロダクション

価値創造のための戦略

価値創造の基盤

財務・コーポレートデータ